

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会  
 2016年度事業報告  
 (2016年4月1日～2017年3月31日)

【概 括】

I 組織

2016年度会員（加入者）目標を115,000人とし、会員（加入者）総数は120,669人（対前年度比・約11%増）※グラフ1となり、目標を7月末時点で達成した。2016年度から補償を開始したサポート協会に加え、2016年度生活サポート総合補償制度の改定によりAとBの2プランから選択ができるようになったことも会員（加入者）増員の一因と思われる。

2016年度の社員（団体）数は42社員（団体）から、和歌山県、愛媛県、ながの（長野県）がサポート協会を設立、和歌山県が8月、愛媛県が11月、ながの（長野県）が12月付で当会に加盟となり、45社員（団体）※表1となった。補償開始は和歌山県が2016年10月から、愛媛県、ながの（長野県）が、2017年4月からである。

当会設立当初から全都道府県がサポート協会に加盟していただくことが目標であるが、これで未加盟は中国地方の岡山県、広島県、島根県の3県のみとなり、今後も近隣のサポート協会及びジェイアイシーグループの支援をいただきながら加盟を促進していく。

グラフ1 会員（加入者）数の推移

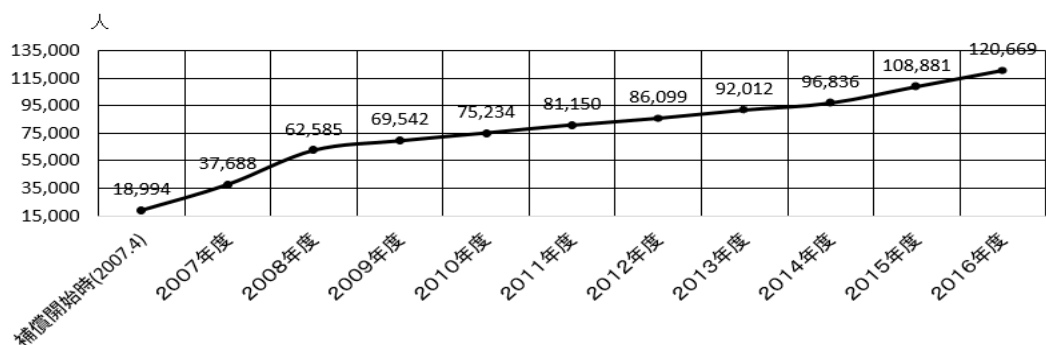


表1 加盟社員（団体）数の推移

年度	加盟社員 (団体)数
2007年4月	11
2007年度	26
2008年度	32
2009年度	33
2010年度	36
2011年度	36
2012年度	36
2013年度	36
2014年度	40
2015年度	42
2016年度	45

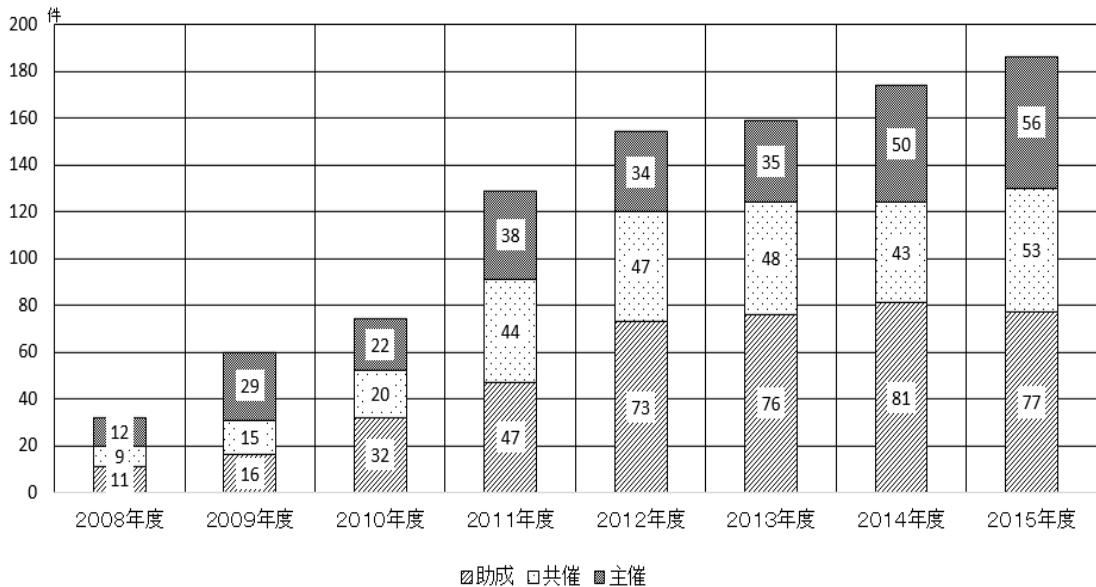
表2 ブロック別会員(加入者)数の推移

ブロック名	2007年4月	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
北海道ブロック	-	369	1,296	1,567	1,714	1,876	2,513	3,118	3,815	4,276	4,792
東北ブロック	2,821	3,938	5,419	6,609	8,252	8,947	9,563	10,131	10,568	11,174	12,062
関東甲越ブロック	16,173	20,402	32,440	33,568	34,868	36,103	37,284	38,353	39,633	41,162	43,619
中部ブロック	-	8,277	9,414	10,443	11,003	11,379	12,048	13,041	13,850	16,523	17,555
近畿・中国・四国ブロック	-	-	5,917	7,311	8,426	11,079	11,864	13,067	13,940	19,299	24,971
九州ブロック	-	4,702	8,099	10,044	10,971	11,766	12,827	14,302	15,030	16,447	17,670

## II 事業

### 1 サポート協会における事業の実施

サポート協会の事業報告及び決算書より、事業の実施数は（174事業→186事業 7%増）、1サポート協会の事業費にかかる費用平均（117万円→113万円 3%減）と費用については減少となった。費用は減少となっているが、サポート協会の事業が成熟しつつあり、事業運営の工夫などの結果が費用減に繋がってきているものと思われる。



### 2 ブロック会議

#### (1) 協議事項

ア 6ブロックで開催し、事前に各サポート協会に事業実施についてのアンケートを実施し協議を行った。このアンケートにより広報誌の発行がブロックにより開きがあることがわかった。

特に広報誌未発行のサポート協会が多いブロックにおいては、当会より会員（加入者）から徴収した会費の用途についての説明責任及び情報提供の重要性とその公開媒体として広報誌を発行することが必要であると説明した。

イ 2018年度「生活サポート総合補償制度」改定案についてA I U及びJ I Cから現状報告を行い、質疑応答を行った。

(2) その他

関東甲信越及び、東海・北陸ブロック会議では、2016年度アールブリュット作品展において、関東甲信越で2作品、東海・北陸で1作品の計3作品が入賞したため、入賞者の表彰式を行った。

3 啓発宣伝

(1) アールブリュット作品の募集

2016年度は募集要項等を設定し、募集を立体作品のみとし、200作品が集まった。当会ホームページの「お知らせ」に作品展として全作品を掲載し、総会での投票の結果、入賞作品は群馬県、東京都、愛知県からそれぞれ1作品が選ばれた。入賞者には2015年度同様、当会から賞状とともにA I U及びJ I Cより副賞が授与された。

(2) 7月1日付 会報誌「サポ協だより シンボロス～共生～」の発行

42サポート協会及びジェイアイシーグループ等に132,200部を送付した。

2016年度よりアールブリュット展の入賞作品を掲載した。

(3) 広告掲載

ア 集会

① 日本知的障害者福祉協会

「全国知的障害関係施設長等会議」(2016年6月23日・24日)

「全国知的障害福祉関係職員研究大会」

(2016年9月7日～9日)

② 全国手をつなぐ育成会連合会

「第3回全国大会」(2016年7月2日・3日)

イ 冊子

① 日本知的障害者福祉協会「さぽーと」(年間)

② 全国手をつなぐ育成会連合会「手をつなぐ」(年間)

ウ 週刊福祉新聞 暑中見舞名刺広告・年賀名刺広告

(4) ホームページ

「サポート協会及びブロック会議の活動」ページにサポート協会から事業実施の情報(イベントのお知らせ)及びブロック会議報告を掲載した。

また、「お知らせ」ページに、国や他団体からの福祉関係の情報、オリパラ推進ネットワークのイベント情報等を掲載した。

#### 4 MVP委員会

当会発足当時から開催されているMVP委員会の定義について再度確認を行い、この会議は当会の今後の方針決定を行う特別な会議であることを確認した。そのため、2015年度まで委員は副理事長及び補償制度アドバイザーで構成されていたが、2016年度より各ブロックより1名及び補償制度アドバイザーの7名の委員とした。

※ 実際には東海・北陸（中部）ブロック代表であった川口副理事長が年度途中で逝去されたため、6名での開催となった。

2016年度は2017年度より試行事業として実施を予定している事業助成の内容、入会金廃止、職員給与について協議し、2017年度は具体的な内容について協議することとなった。

#### 5 十周年記念行事

##### ア 十周年記念式典

2016年度総会時に十周年記念式典を開催し、国会議員、AIU代表者、関係団体代表者等のご来賓の方々からご祝辞を賜った。式典ではこの他に十周年特別功労賞の授与式を行った。

また、十周年記念事業の一環として『全サポ 障がい児者のくらしを支えることから本人の活動へ』と題し、2部構成にて研修会を行った。第1部は「設立から現在までの経過報告」ということで、まず当会片桐副理事長から当会設立経緯を、AIU 今村様から「生活サポート総合補償制度」の誕生経過を、愛知県サポート協会の川崎理事、田中理事から愛知県の主催事業である芸術活動及び成年後見事業について報告を行った。第2部は松矢顧問による「知的な障害のある人の社会参加をめぐる課題」の講義とし、参加者からは好評であった。

総会、研修会、記念式典とも同日の開催であったため行程の遅れが心配されたが、三浦前事務局長の司会、関係者の協力により、予定とおりに進行できた。

式典終了後、十周年記念事業実行委員会宮路委員（愛知県事務局長）の司会のもと、十周年祝賀会を着席形式で行った。

##### イ 「10周年記念誌」の発行

2015年度から計画的に準備を重ねていた結果、「10周年記念誌」を予定とおりに発行することができた。挿絵は2015年度に応募があったアールブリュット作品を全て掲載し、900部印刷した。

配布先は、各サポート協会、AIU、JIC、設立時関係者、アールブリュット作品掲載者、来賓等とした。

なお、記念誌は式典出席者には式典当日に配布し、研修会資料としても活用した。

6 小規模サポート協会支援

小規模サポート協会へは、2016年8月末現在で会員（加入者）数500人以下のサポート協会に対し、規定した金額の助成を行った。2016年度は1サポート協会のみとなったが、2017年度以降も支援を継続する。

7 「会員管理システム」の利用〈適正な会員（加入者）の情報管理〉

2015年度末に2016年度「生活サポート補償制度」改定に伴う「会員管理システム」のシステム変更を行った。運用で問題や改善依頼が発生した場合はその都度、システム管理会社（エキスパート社）とシステム変更を相談することとしていたが、特に問題や改善依頼は発生していない。

8 サポート協会の定款等の変更及び会計報告の改善

2015年度ブロック会議にて各サポート協会にサポート協会の定款等の変更及び会計報告の改善をお願いしていたが、改善を行ったサポート協会は全体の半数程度にとどまった。

そのため、2016年度ブロック会議で再度のお願いを行うと共に、1月には事務局員向けにブロック会議で配布した資料の再送付及び実施状況アンケートを実施し、改善の再確認を行った。

9 「生活サポート総合補償制度」に係る改定

2016年4月から「生活サポート総合補償制度」が改定され、A及びB、2プランの運用が始まった。事務処理等について特に大きな混乱もなく1年が経過した。2015年度において事務局、会員（加入者）への説明がなされていた結果と思われる。

Bプランの加入率について、プラン開始前は全体の30%をBプラン加入と試算していたが、実際は約22.5%にとどまった。ただし、説明会を積極的に行っているサポート協会（埼玉県等）では、Bプランの加入率が30%以上であることから、Bプランの説明を丁寧に行っていけば、今後のBプランの会員（加入者）増が期待できると推測される。

2018年度「生活サポート総合補償制度」改定については、理事会、総会等でAIUの改定案を確認した。その後、ブロック会議で大筋での改定内容をサポート協会に説明し、ブロック会議終了後各サポート協会にアンケートを行った。

10 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」への参加

当会は、2015年7月に発足した「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」の構成団体となり会議等に出席、「障害者の文化芸術活動に関するアンケート事業実施についてのアンケート」に協力した。

また、当会では障害者の文化芸術活動の一環として2015年度からアールブリュット作品展を行っており、入賞作品を「生活サポート総合補償制度」パンフレット及び広報誌に掲載した。

**【事業内容】**

1 2016年度定時社員総会

日 時：2016年5月24日（火）12：30～13：40

場 所：品川区立総合区民会館 イベントホール

議案事項：2015年度事業報告及び決算報告、監査報告 他

2 十周年記念式典・祝賀会

日時：2016年5月24日（火）

式 典 16：10～17：00

祝賀会 17：00～19：00

場所：品川区立総合区民会館 イベントホール

内容：式 典 主催者挨拶、来賓祝辞、功労者表彰

祝賀会 主催者挨拶、来賓祝辞、祝宴 他

3 理事会

	日時	場所	内容
第1回	2016年4月28日（金） 13:00～15:30	品川区立総合区民会館 イベントホール	・2015年度事業報告、決算報告、監査報告 ・熊本地震について ・2018年「生活サポート総合補償制度」改定について 他
定款第31条に基づく	2016年8月1日（月）	電磁的記録	・社員（和歌山県サポート協会）の入会審査
定款第	2016年11月15日（火）	電磁的記録	・社員（愛媛県サポート協会）の入

31 条に 基づく			会審査
定款第 31 条に 基づく	2016 年 12 月 30 日 (金)	電磁的記録	・社員 (ながのサポート協会) の入 会審査
第 2 回	2017 年 3 月 3 日 (金) 13:00~16:00	品川区立総合 区民会館 中会議室	・2018 年度「生活サポート総合補償 制度」改定について ・2016 年度事業実施等の成果と課題 ・2017 年度事業計画・予算(案) 他

#### 4 三役会

	日時	内容
第 1 回	2016 年 4 月 7 日 (木) 11:00~15:00	・2015 年度事業報告、決算報告、監査報告 ・2018 年度「生活サポート総合補償制度」改定 他
第 2 回	2016 年 7 月 29 日 (金) 11:00~15:00	・2016 年度定時社員総会及び 10 周年記念式典の評価・ 反省 ・ブロック会議協議事項 ・2018 年度「生活サポート総合補償制度」改定 他
第 3 回	2016 年 12 月 8 日 (木) 14:00~17:10	・2018 年度「生活サポート総合補償制度」改定 他
第 4 回	2017 年 12 月 10 日 (金) 11:00~15:00	・2018 年度「生活サポート総合補償制度」改定 ・2016 年度事業等の評価・反省 ・2017 年度定時社員総会(案) ・2017 年度事業計画・予算(案) 他

※ 開催場所は一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会 事務所

#### 5 委員会

##### 第 1 回 MVP 委員会

日時：2016 年 7 月 28 日 (火) 13:30 ~ 16:45

内容：・当会での事業展開について

・事務局長契約書及び事務局員給与について 他

##### 第 2 回 MVP 委員会

日時：2017 年 2 月 9 日 (木) 13:00 ~ 17:00

内容：・当会での事業展開について

・入会金について 他

※ 開催場所は両日とも一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

## 事務所

### 6 ブロック会議

- ・ 第6回北海道ブロック会議  
2016年9月14日(水) 15:00~16:40  
札幌市 育成会活動センター「いんくる」
- ・ 第10回東海・北陸ブロック会議  
2016年10月13日(木) 13:30~17:00  
愛知県 名古屋ガーデンパレス
- ・ 第10回九州ブロック会議  
2016年10月20日(木) 14:00~17:00  
沖縄県 ホテルロイヤルオリオン
- ・ 第9回近畿・中国・四国ブロック会議  
2016年11月1日(木) 13:30~17:00  
徳島県 徳島グランヴィリオホテル
- ・ 第11回関東甲信越ブロック会議  
2016年11月10日(木) 13:30~16:30  
新潟県 月岡温泉 泉慶
- ・ 第10回東北ブロック会議  
2016年11月17日(木) 13:30~17:00  
福島県 郡山ビューホテルアネックス

### 7 研修会

日時：2016年5月24日(火) 13:50~16:00

場所：品川区立総合区民会館 イベントホール

内容：全サポ 障がい児者のくらしを支えることから本人の活動へ

詳細：第1部

(1) 設立から現在に至るまでの経過報告

片桐副理事長

(2) 全サポ10周年に添えて/AIU損害保険

AIU 今村マネージャー

(3) ア 障害者アート展の取り組み

愛知県サポート協会 川崎理事

イ 成年後見業務について

愛知県サポート協会 田中理事

第2部

知的な障害のある人の社会参加をめぐる課題

松矢顧問



一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

2016年度収支計算書 ー運営の部ー

2016年4月1日から2017年3月31日まで

収入

(単位：円)

大科目	中科目	決算額	予算額	予算額増減	摘要
運営費収入		28,087,600	24,652,700	3,434,900	
	入会金	4,274,700	1,835,700	2,439,000	300円×14,249人=4,274,700円
	年会費	23,812,900	22,817,000	995,900	200円×117,465人=23,493,000円 100円×3,199人=319,900円
寄付金	受取寄付金	1,500,000	0	1,500,000	AIU、JIC十周年寄付金
雑収入	雑収入	34	1,000	△966	利息
前期繰越金		13,495,482	13,495,482	0	
	合計	43,083,116	38,149,182	4,933,934	

支出

大科目	中科目	決算額	予算額	予算額増減	摘要
事業費		3,750,004	4,197,000	△446,996	
	入会金返金	4,200	9,000	△4,800	脱退・二重払込等による入会金の返金
	年会費返金	16,000	16,000	0	脱退・二重払込等による年会費の返金
	組織強化費	98,200	100,000	△1,800	小規模サポート協会への支援金
	啓発宣伝費	815,604	932,000	△116,396	広告掲載、HP維持・更新・ 7-ルックリユット賞状作成費等
	研修費	40,160	60,000	△19,840	総会時研修会説明員旅費
	助成金	600,000	600,000	0	ブロック活動費補助金(6ブロック)
	MVP委員会	300,090	500,000	△199,910	MVP委員旅費等
	就労支援	0	70,000	△70,000	
	十周年記念事業費	1,334,746	1,310,000	24,746	十周年記念誌作成費、事業実行委員旅費等
	支払手数料	541,004	600,000	△58,996	振込手数料・ネットバンキング利用料
管理費		18,933,645	20,438,000	△1,504,355	
	人件費	4,732,000	4,732,000	0	職員2名分(5月まで3名分)
	法定福利費	427,287	439,000	△11,713	社会保険料等
	福利厚生費	77,401	50,000	27,401	購読料、健康診断等
	総会費	2,034,523	3,050,000	△1,015,477	総会(交通費、会場費)等
	会議費	1,340,323	1,800,000	△459,677	理事会、三役会、委員会 (会場、交通費)等
	旅費交通費	1,435,842	1,530,000	△94,158	ブロック会議、通勤手当職員2人分等
	賃借料	1,944,000	1,944,000	0	家賃
	水道光熱費	82,799	105,000	△22,201	水道、電気料
	通信運搬費	269,578	270,000	△422	電話、切手、宅配便等
	環境管理費	147,070	147,000	70	事務所管理費(セコム)、事務所財産保険
	リース料	245,737	245,000	737	事務機器
	印刷製本費	797,594	850,000	△52,406	会報作成費用等
	消耗品費	324,200	468,000	△143,800	複合機使用料、事務用品費他
	会員管理費	433,320	497,000	△63,680	会員管理費、AIUインターネット送料
	顧問・指導料	1,112,400	1,080,000	32,400	顧問3名分、社会保険労務士指導料
	租税公課	102,100	111,000	△8,900	税金、法務局変更登記申請手数料
	渉外費	196,217	50,000	146,217	慶弔・慶弔旅費、贈答品等
	引当金	60,000	60,000	0	退職引当金
	積立金	3,165,254	3,000,000	165,254	定期預金(記念事業費除)
	雑費	6,000	10,000	△4,000	法人会会費等
予備費	予備費	640,000	13,514,182	△12,874,182	
	予備費	0	13,214,182	△13,214,182	
	功労金	300,000	300,000	0	三浦前事務局長功労金
	義捐金	340,000	0	340,000	熊本地震義捐金
繰越金	次期繰越金	19,759,467	0	19,759,467	
	合計	43,083,116	38,149,182	4,933,934	

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

2016年度収支計算書 ー保険料の部ー

2016年4月1日から2017年3月31日まで

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	決 算 額	予 算 額	予 算 額 増 減	摘 要
収入	預り保険料収入	1,885,955,080			下記のとおり
	保険料	1,876,245,630	1,539,126,790	337,118,840	
	返戻金	9,709,450			
支出	預り保険料出	1,885,955,080			
	保険料	1,876,245,630	1,539,126,790	337,118,840	
	返戻金	9,709,450			

※保険料の部 摘要詳細

保険料	<p><b>合計金額内訳</b> 保険料(会員数)合計1,876,245,630円(120,681人分)</p> <p>1,874,806,400円(120,598人分)「2016年4月から2017年1月入金までの2016年度保険料」                      +1,459,040円( 84人分)「2017年3月入金(2017年度保険料)」                      - 19,810円( 1人分)「レギューラ 株ト協会⇒JIC直接入金」</p> <p><b>参考：「2016年度保険料合計」(120,669人分)</b>                      1,874,806,400円(120,598人分)「2016年4月から2017年1月入金までの2016年度保険料」                      +1,131,510円( 71人分)「2016年3月入金(2016年度保険料4月加入分の一部)」                      =1,875,937,910円                      ※1名分(19,810円)レギューラ有。株ト協⇒JIC直接入金</p>
返戻金	内訳 9,709,450円(サポート協会振込)

# 貸借対照表

2017年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	19,994,386	13,586,311	6,408,075
流動資産合計	19,994,386	13,586,311	6,408,075
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	9,252,936	6,087,166	3,165,770
基本財産合計	9,252,936	6,087,166	3,165,770
(2) 特定資産			
退職金積立	390,000	330,000	60,000
特定資産合計	390,000	330,000	60,000
(3) その他固定資産			
什器備品	38,496	76,992	△ 38,496
保証金	675,000	675,000	0
その他固定資産合計	713,496	751,992	△ 38,496
固定資産合計	10,356,432	7,169,158	3,187,274
資産合計	30,350,818	20,755,469	9,595,349
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受入金会金	22,500	10,200	12,300
前受年会費	16,800	14,200	2,600
預り金	195,619	66,429	129,190
流動負債合計	234,919	90,829	144,090
2. 固定負債			
退職給付引当金	390,000	330,000	60,000
固定負債合計	390,000	330,000	60,000
負債合計	624,919	420,829	204,090
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	9,252,936	6,087,166	3,165,770
(うち特定資産への充当額)	390,000	330,000	60,000
正味財産合計	29,725,899	20,334,640	9,391,259
負債及び正味財産合計	30,350,818	20,755,469	9,595,349

# 正味財産増減計算書

2016年 4月 1日から2017年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
入年会費収入	4,274,700	4,309,800	△ 35,100
雑受取付	23,812,900	21,603,000	2,209,900
寄附金	550	1,503	△ 953
経常収益計	550	1,503	△ 953
(2) 経常費用	1,500,000	0	1,500,000
事業費	29,588,150	25,914,303	3,673,847
入年会費	3,750,004	2,416,173	1,333,831
年会費	4,200	6,000	△ 1,800
年会費	16,000	12,400	3,600
年会費	98,200	185,000	△ 86,800
年会費	815,604	796,792	18,812
年会費	40,160	0	40,160
年会費	600,000	600,000	0
年会費	300,090	0	300,090
年会費	0	1,200	△ 1,200
年会費	1,334,746	313,943	1,020,803
年会費	541,004	500,838	40,166
年会費	15,768,391	16,507,129	△ 738,738
年会費	4,732,000	4,391,000	341,000
年会費	427,287	425,030	1,889
年会費	77,401	29,690	47,711
年会費	2,034,523	2,496,583	△ 462,060
年会費	1,340,323	1,701,441	△ 361,118
年会費	1,435,842	1,476,960	△ 41,118
年会費	1,944,000		△ 145,800
年会費	82,799	86,509	△ 3,710
年会費	269,578	277,382	△ 7,804
年会費	147,070	136,080	11,990
年会費	245,737	244,144	1,593
年会費	797,594	746,020	51,574
年会費	324,200	356,260	△ 32,060
年会費	433,320	760,660	△ 327,340
年会費	1,112,400	1,080,000	32,400
年会費	102,100	80,600	21,500
年会費	196,217	52,960	143,257
年会費	60,000	60,000	0
年会費	6,000	6,000	0
年会費	38,496	76,991	△ 38,495
年会費	640,000	0	640,000
年会費	300,000	0	300,000
年会費	340,000	0	340,000
経常費用計	20,196,891	19,000,293	1,196,598
評価損益等調整前当期経常増減額	9,391,259	6,914,010	2,477,249
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	9,391,259	6,914,010	2,477,249
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	9,391,259	6,914,010	2,477,249
一般正味財産期首残高	20,334,640	13,420,630	6,914,010
一般正味財産期末残高	29,725,899	20,334,640	9,391,259
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	29,725,899	20,334,640	9,391,259

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会  
2017年度事業計画

**【基本方針】**

1 理念

Mission (ミッション・使命) = 知的障害児者生活サポート

Vision (ヴィジョン・将来像) = 全国 (組織)

Passion (パッション・熱情) = 協会 (熱い情の協働体)

- 2 組織では、全国サポート協会とサポート協会間の一層の連携  
3 事業では、当会定款第2条 (目的・事業) を実施・継続  
4 AIU損害保険株式会社並びにジェイアイシーグループと協議を継続

**【活動内容】**

1 組織の運営

当会の組織、事業及び財政など会務の適正な運営を図るため、定時社員総会・理事会また必要に応じて三役会等を開催する。

- (1) 定時社員総会 1回  
(2) 理事会 2回

2 事業の実施

当会は、定款第2条の知的障害児者とその家族の生活安定と福祉の推進に寄与することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。

- ① 知的障害児者とその家族の生活安定のため各種の事業
- ② 知的障害児者の各種制度に関する調査研究並びに意見具申
- ③ 社員の役職員の研鑽等、社員の健全な発展に資する各種の事業
- ④ 社員の発展に必要な援助及び指導
- ⑤ その他、当会の目的を達成するために必要な事業

(1) 相談支援事業の実施

ブロック活動の促進に協力

全国の6ブロックでは、ブロック毎に会議を開催し、報告・協議等を行う。

ア ブロック活動の推進に協力し、必要な情報を提供する。

イ ブロック活動に対し、補助金を助成する。

ウ 事務局職員の研修等を必要に応じ、具体的目的があればブロック毎に開催し、必要な情報を提供する。

エ 全国サポート協会ホームページの「サポート協会及びブロック会議の活動」にて、サポート協会の運営及び事業の参考になるような内容やブロック会議の情報を随時報告する。

(2) 啓発事業の実施

ア 会報誌「サポ協だより シンビオシス～共生～」の発行、配布：年1回

2018年度「生活サポート総合補償制度」改定について掲載する

#### イ ホームページ

当会のホームページは2007年に制作され、その間にスマートフォンやタブレットの普及などホームページ閲覧の環境が変わってきた。また、当会への加入問合せもホームページで当会を知ったという方が増えてきている。

制作10年を期にホームページを改定し、パソコンのみでなくスマートフォン等にも対応し、より当会ホームページを見やすく、わかりやすい内容に変更する。

#### ウ 広告掲載

##### (ア) 集会

- ① 日本知的障害者福祉協会「施設長等会議」「全国職員研究大会」
- ② 全国手をつなぐ育成会連合会「全国大会」

##### (イ) 冊子

- ① 日本知的障害者福祉協会「さぼーと」
- ② 全国手をつなぐ育成会連合会「手をつなぐ」

##### (ウ) 週刊福祉新聞「暑中見舞名刺広告」「年賀名刺広告」

#### (3) 組織強化の実施

##### ア 会員（加入者）の拡大

(ア) 2016年度「生活サポート総合補償制度」の改定によりプランが選択できるようになり、また2018年度改定で新しい企業就労者等向けのプランが増えることから、既存会員（加入者）はもとより新規会員（加入者）に、より詳細な説明を行うことが必要となる。そのためにはブロック会議やホームページを通じて情報を共有し、サポート協会の事業内容をより魅力あるものにしていくことが必要。

また、若年層の新規会員（加入者）の開拓がより重要となってきたため、特別支援学校卒業生、企業就労者やNPO法人へのアプローチをすすめていく。

(イ) 会員（加入者）の目標は、2017年度126,000人とする。

##### イ サポート協会（社員）加盟の促進

全都道府県の当会加盟をめざし、未加盟の3県（岡山、広島、島根）へのサポート協会（社員）設立の働きかけを近隣のサポート協会及び担当のジェイアイシーグループと連携して行う。

(4) 「会員管理システム」活用の推進及びジェイアイシーグループとの連携により適正な会員（加入者）の情報管理に努める。

#### 3 2018年度「生活サポート総合補償制度」改定

2017年度理事会、総会にて企業就労者等、新たな会員（加入者）を対象にした改定案について承認を受け、総会時及びブロック会議時に各サ

ポート協会の事務局職員を対象に研修会を行い、2018年度に改定が滞りなく行えるよう準備する。

- 4 一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会に関わる連携の強化  
障害者とその家族の安定のため、A I U損害保険株式会社及びジェイアイシーグループ等と、必要に応じて三者協議を随時実施する。
- 5 小規模サポート協会への支援  
小規模サポート協会<会員（加入者）数500人以下>へ基盤強化・拡大を図るため、引き続き支援する。
  - ・支援内容 年間 会員（加入者）1人200円
  - ・会員（加入者）数の基準日 毎年8月31日（現在）  
尚、最高限度額を100,000円、最低保障額を50,000円  
（500人を超えた年度で支援終了）
- 6 「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」への参加  
「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進するネットワーク」の構成団体として、障害者文化芸術活動を推進するための啓発活動、事業を推進していく。  
2017年度も、2016年度に引き続き第一として当会ホームページに掲載する作品展、第二として入賞作品を2018年度分のパンフレット及び会報誌（サポ協だより）に掲載する。
- 7 今後の課題解決に向けての委員会の実施  
当会の事業支援について、2016年度に引き続いて協議する。  
また、2018年度が事務局長の契約更新にあたることから、職員の給与について協議を行う。

#### 《試行事業》

##### 1 サポート協会事業実施への助成

各サポート協会により多くの主催事業開催を促すため、各サポート協会が行っている主催事業に対して全国サポート協会から助成金を交付する。

2017年度助成金額を総額100万円とし、交付方法、助成金額等詳細については委員会にて検討する。

##### 2 就労支援事業

2017年度中に今後の実施について検討する。

【具体的活動計画】

年	月	日	曜	会議名	ブロック会議 全国サポート協会 出席者
2017	4	6	木	監査・第1回三役会	
	5	10	水	2017年度第1回理事会	
	6	6	火	2017年度定時社員総会	
	7~8			MVP委員会	
				第2回三役会	
	10	11	水	北海道ブロック会議(北海道)	正副理事長 補償制度アドバイザー 事務局長
		19	木	関東甲越ブロック会議(茨城県)	
	11	10	金	近畿・中国・四国ブロック会議(京都府)	
		16	木	東北ブロック会議(山形県)	
		22	水	中部ブロック会議(三重県)	
	12	1	金	九州ブロック会議(鹿児島県)	
				MVP委員会	
				第3回三役会	
2018	2		MVP委員会		
			第4回三役会		
	3		第2回理事会		



一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会

2017年度収支予算書 ー運営の部ー

2017年4月1日から2018年3月31日まで

収入

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	2016年度予算額	2017年度予算額	増 減	摘 要
運営費収入		24,652,700	<b>26,627,600</b>	1,974,900	
	入 会 金	1,835,700	1,599,300	△ 236,400	300円×5,331人=1,599,300
	年 会 費	22,817,000	25,028,300	2,211,300	200円×124,283人=24,856,600 100円× 1,717人= 171,700 計25,028,300円
雑 収 入	雑 収 入	1,000	<b>1,000</b>	0	利息
繰 越 金	前 期 繰 越 金	13,495,482	19,759,467	6,263,985	2016年度繰越金
	合 計	38,149,182	<b>46,388,067</b>	8,238,885	

支出

大 科 目	中 科 目	2016年度予算額	2017年度予算額	増 減	摘 要
事 業 費		<b>4,197,000</b>	<b>5,395,000</b>	<b>1,198,000</b>	
	入 会 金 返 金	9,000	9,000	0	脱退・二重払込等による入会金の返金
	年 会 費 返 金	16,000	16,000	0	脱退・二重払込等による年会費の返金
	組 織 強 化 費	100,000	50,000	△ 50,000	小規模サポート協会への支援金
	啓 発 宣 伝 費	932,000	2,000,000	1,068,000	広告掲載、HP作成、2020年東京パ'ラリンピックネットワーク費等
	研 修 費	60,000	50,000	△ 10,000	研修会講師謝礼等
	助 成 金	600,000	1,000,000	400,000	ブロック活動費補助金(6ブロック)
	M V P 委 員 会	500,000	600,000	100,000	委員会旅費等
	事 業 助 成		1,000,000	1,000,000	サポート協会主催事業助成
	就 労 支 援	70,000	70,000	0	就労支援説明出張費等
	十周年記念事業費	1,310,000	0	△ 1,310,000	
	支 払 手 数 料	600,000	600,000	0	振込手数料等
管 理 費		<b>20,438,000</b>	<b>26,504,000</b>	<b>6,066,000</b>	
	人 件 費	4,732,000	4,583,000	△ 149,000	職員2名分、事務局長社会保険手当
	法 定 福 利 費	439,000	452,000	13,000	社会保険料等
	福 利 厚 生 費	50,000	210,000	160,000	購読料、健康診断等
	総 会 費	3,050,000	4,630,000	1,580,000	総会(交通費、会場費)等
	会 議 費	1,800,000	2,000,000	200,000	理事会、三役会、委員会(会場、交通費)等
	旅 費 交 通 費	1,530,000	1,530,000	0	ブロック会議、通勤手当職員2名分等
	賃 借 料	1,944,000	2,090,000	146,000	家賃
	水 道 光 熱 費	105,000	105,000	0	水道、電気料
	通 信 運 搬 費	270,000	320,000	50,000	電話、切手、宅配便等
	環 境 管 理 費	147,000	147,000	0	事務所管理費(セコム)、事務所財産保険
	リ ー ス 料	245,000	251,000	6,000	事務機器
	印 刷 製 本 費	850,000	900,000	50,000	会報作成費用等
	消 耗 品 費	468,000	368,000	△ 100,000	複合機使用料、事務用品費
	会 員 管 理 費	497,000	497,000	0	会員管理費、AIUF'-'送料
	顧 問 ・ 指 導 料	1,080,000	1,080,000	0	顧問3名分
	租 税 公 課	111,000	111,000	0	税金、法務局変更登記申請手数料
	渉 外 費	50,000	100,000	50,000	慶弔・贈答品等
	引 当 金	60,000	120,000	60,000	退職引当金
	積 立 金	3,000,000	7,000,000	4,000,000	定期預金→固定資産へ
	雑 費	10,000	10,000	0	法人会会費等
予 備 費		<b>13,514,182</b>	<b>14,489,067</b>	<b>974,885</b>	
	予 備 費	13,214,182	14,489,067	1,274,885	
	功 勞 金	300,000	0	△ 300,000	
	合 計	<b>38,149,182</b>	<b>46,388,067</b>	<b>8,238,885</b>	

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会  
**2017年度収支予算書 ー保険料の部ー**  
 2017年4月1日から2018年3月31日まで

(単位：円)

	大 科 目	2016年度予算額	2017年度予算額	増 減	摘 要
					2017年度会員(加入者)目標 126,000 人 会員(加入者)数は前年度月別比で算定し、保険料に 乗算 プランA
					4月 14,810 円 × 94,706 人 = 1,402,595,860
					5月 13,140 円 × 538 人 = 7,069,320
					6月 11,960 円 × 574 人 = 6,865,040
					7月 10,750 円 × 400 人 = 4,300,000
					8月 9,550 円 × 252 人 = 2,406,600
					9月 8,370 円 × 232 人 = 1,941,840
					10月 7,190 円 × 251 人 = 1,804,690
					11月 5,980 円 × 210 人 = 1,255,800
					12月 4,780 円 × 199 人 = 951,220
					1月 3,600 円 × 147 人 = 529,200
					2月 2,400 円 × 100 人 = 240,000
収 入	保 険 料	1,839,036,200	1,964,297,320	125,261,120	合計 97,609 人 1,429,959,570  プランB
					4月 19,810 円 × 25,459 人 = 504,342,790
					5月 15,320 円 × 625 人 = 9,575,000
					6月 13,930 円 × 599 人 = 7,511,460
					7月 12,540 円 × 397 人 = 4,422,580
					8月 11,140 円 × 295 人 = 2,873,300
					9月 9,740 円 × 206 人 = 1,724,220
					10月 8,370 円 × 246 人 = 1,717,080
					11月 6,980 円 × 140 人 = 778,400
					12月 5,560 円 × 148 人 = 620,120
					1月 4,190 円 × 159 人 = 445,200
					2月 2,800 円 × 117 人 = 327,600
					合計 28,391 人 534,337,750
支 出	保 険 料	1,839,036,200	1,964,297,320	125,261,120	同 上